

平成27年9月1日（火）

照会先：保健福祉部保健予防課
健康危機管理対策室障害福祉課
自立支援担当G

担当：室長補佐（総括） 深谷均

課長補佐 古市重成

インフルエンザの集団発生について

- インフルエンザの集団発生の報告が下記のとおりありましたのでお知らせします。
今季初めての集団発生となります。
- 患者は全員医療機関を受診し、全員が迅速キットによる検査でインフルエンザA型と診断されています。入院等の重症者はありません。また、衛生研究所で遺伝子型の検査を行う予定です。

記

1 発生状況

施設名 社会福祉法人^{ちくおう} 筑桜会 障害者支援施設 さくら^{そう} 荘

所在地 守谷市^{おおき}大木129-2

施設長名 桜井 啓一（さくらい けいいち）

入所者数 50名（9月1日現在）

職員数 28名（同上）

患者数 15名（8月29日～9月1日）

2 患者の年齢別・性別内訳

		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	合計
入所者	男性	2	1	2	3	0	8
	女性	0	1	0	2	2	5
職員	男性	1	1	0	0	0	2
	女性	0	0	0	0	0	0
合計		3	3	2	5	2	15

※ 今後、インフルエンザの流行期に向かいますので、県民の皆様には「手洗いの励行」「咳エチケットの実践」「予防接種」等、インフルエンザの予防をお願いいたします。

なお、正しい手洗いポスター（別紙）を保健予防課のホームページに掲載していますので、御活用下さい。

<参考>

●県内のシーズン別インフルエンザ様疾患集団発生状況

(社会福祉施設等にかかる述べ患者数)

年次	期間	患者数(人)
H24～H25年	H24.09.03～H25.06.23	2,739
H25～H26年	H25.09.02～H26.05.11	2,383
H26～H27年	H26.09.01～H27.06.28	2,861

●最近のインフルエンザ流行状況

インフルエンザ流行指数※	全国	茨城県
33週(H27.08.10～08.16)	0.05	0.01
34週(H27.08.17～08.23)	0.05	0.00

※ インフルエンザ流行指数は1定点あたり1週間の患者数

$$\text{インフルエンザ流行指数} = \frac{\text{インフルエンザ定点において1週間の間にインフルエンザと診断した患者数}}{\text{インフルエンザ定点数}}$$

- ・インフルエンザ定点数は県内に120医療機関
- ・流行指数が1.0を超えると流行期に入ったと判断します。

インフルエンザの流行に関する警報・注意報について

- ① 流行指数が**基準値(注意報:10 警報:30)**を超えた保健所区域には「地域注意報」又は「地域警報」を発令します。また、県全体において流行指数が基準値を超えた場合には、「県全域注意報」又は「県全域警報」を発令します。
- ② **注意報**: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があること、流行発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性があることを示します。
警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。
なお、警報の解除は終息基準値(10)を下回ったときになります。

インフルエンザの予防について

～ひろげるなインフルエンザ!ひろげよう咳エチケット!～

◆ インフルエンザにかからない、うつさないための対策



☆帰宅時の手洗い
手にウイルスがついたままに
しないことが大切です



☆咳エチケット
咳やくしゃみをする時は
鼻や口をおさえましょう
マスクをしましょう

◆ インフルエンザにかかった場合の対応

- ・ 早めに医療機関を受診して治療を受けましょう。
- ・ 安静にして、休養をとりましょう。特に、睡眠を十分にとることが大切です。
- ・ 水分を十分に補給しましょう。お茶やスープなど飲みたいもので結構です。
- ・ 一般的に、インフルエンザを発症してから3～7日間はウイルスを排出すると言われていま
すので、その間は外出を控えましょう。

☆できていますか?正しい手洗い【ポスター】

インフルエンザを含む感染症予防の基本は手洗いです!

<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/hoken/yobo/kansen/idwr/information/influenza/tearaiA4.pdf>